

平成 29 年 営巣状況

平成 29 年の十三崖では、チョウゲンボウが 1 つがい営巣し、6 羽のヒナが巣立ちました。利用された巣場所は、上流側の横に細長い巣穴です。ハヤブサの巣は、抱卵中の 4 月 5 日に岩落下で壊滅しました。それから中 1 日を開けた 4 月 7 日に、3 羽の新規のハヤブサのメスが十三崖に現れ、下流側の人工巣穴のチョウゲンボウのメスに猛攻撃を行いました。人工巣穴に入り込んだハヤブサもいました。その後、このチョウゲンボウのメスは十三崖から姿を消しました。人工巣穴のチョウゲンボウのオスは、しばらく巣にとどまりましたが、4 月の後半には十三崖を去ってしまいました。上流側の横に細長い巣穴のつがいでは、4 月末に 6 羽のヒナが孵化し、6 月上旬に無事巣立ちました。ハヤブサは、結局その後繁殖しませんでした。



人工巣穴を覗き込むハヤブサのメス



横に細長い巣穴のメスとヒナ